





は



金葉雜下	露の男けきくもてあまき	はいつめてあんをすん	よん志く
狭古雜上	夏の日の影まきう一岸思乃	はそのあまきう又付はけり	能因法師
拾遺草下	悲しとてころく色もわく吹	はうらうらまふもわく	
新葉秋下	その時あふりよくもあふる	はうらうらまふもわく	庵通詮
新古秋下	時よめぬ浪きいりよ川	はそのの杜に秋やる	春原定家
拾遺草上	いは川ゆき乃あはれさて	はそのの杜に秋やる	
新千雜中	うれきに先むくもあはれ	はうらうらまふもわく	持僧正永縁
初花雜下	春けりよわかあめつるを	はそののりけきみとん	深義國妻
後子長傷	立ちて時あも志りまき	はそののりけきみとん	賀茂遠久
壬生三不中	白あけゆ浪す一泉川	はそのの杜乃行れ下る	
後拾遺草下	いあれたあきれあはれ	はそののりけきみとん	峰河右大臣
拾玉集四	あまきゆ楮れあはれ	はそののりけきみとん	
同四	あまきゆその雲あはれ	はそののりけきみとん	
後古霧旅	らうこれ楮あまき日れ	はそののりけきみとん	権信忠榮
古今秋下	秋あはけきあはれ	はそののりけきみとん	らん人
新千秋下	ささひめあはれ	はそののりけきみとん	伏見院御

拾玉集四

月清集上

新物色又

新千律祇

拾玉集一

子載志四

新拾尺教

拾玉集三

山家集下

玉葉尺教

拾遺貞外

拾遺貞上

山家集下

若菜下

長秋詠藻

拾遺長傷

長秋詠藻

松送哀傷

大原けきみみいづくちのめい
くき斗や情あふらん

月清集上
くき斗や情あふらん

新物色又
くき斗や情あふらん

新千律祇
くき斗や情あふらん

拾玉集一
くき斗や情あふらん

子載志四
くき斗や情あふらん

新拾尺教
くき斗や情あふらん

拾玉集三
くき斗や情あふらん

山家集下
くき斗や情あふらん

玉葉尺教
くき斗や情あふらん

拾遺貞外
くき斗や情あふらん

拾遺貞上
くき斗や情あふらん

山家集下
くき斗や情あふらん

若菜下
くき斗や情あふらん

長秋詠藻
くき斗や情あふらん

拾遺長傷
くき斗や情あふらん

長秋詠藻
くき斗や情あふらん

松送哀傷
くき斗や情あふらん

玉葉雜四

長秋詠藻下

同下

金葉冬

後拾遺下

拾遺貞外

古今春下

伊勢拾遺

山家集上

新勅書下

風雅雜上

新千善下

拾遺貞外上

古今新旅

伊勢拾遺

新千善下

後拾遺上

新千善下

いふくはふり秋のあききき
くき斗や情あふらん

長秋詠藻下
くき斗や情あふらん

同下
くき斗や情あふらん

金葉冬
くき斗や情あふらん

後拾遺下
くき斗や情あふらん

拾遺貞外
くき斗や情あふらん

古今春下
くき斗や情あふらん

伊勢拾遺
くき斗や情あふらん

山家集上
くき斗や情あふらん

新勅書下
くき斗や情あふらん

風雅雜上
くき斗や情あふらん

新千善下
くき斗や情あふらん

拾遺貞外上
くき斗や情あふらん

古今新旅
くき斗や情あふらん

伊勢拾遺
くき斗や情あふらん

新千善下
くき斗や情あふらん

後拾遺上
くき斗や情あふらん

新千善下
くき斗や情あふらん

後性
くき斗や情あふらん

くき斗や情あふらん

くき斗や情あふらん

くき斗や情あふらん

くき斗や情あふらん

くき斗や情あふらん

くき斗や情あふらん

くき斗や情あふらん

くき斗や情あふらん

くき斗や情あふらん

くき斗や情あふらん

くき斗や情あふらん

くき斗や情あふらん

くき斗や情あふらん

くき斗や情あふらん

くき斗や情あふらん

くき斗や情あふらん

くき斗や情あふらん

山家集上

春日野ハ春の肉ま雪つみて ころハ若かれあやたかり

新古集上

いの神のまゝみまのけりて ころハまねぬかのみゆらん 在邊通具

拾玉集一

住ひてあゝぬももみまのけりて ころハまねぬかのみゆらん

同四

ねもよふとてわらふか ころハまねぬかのみゆらん

長秋詠集上

世中けりけりまみまのけりて ころハまねぬかのみゆらん

後松達書上

花みそそけりまみまのけりて ころハまねぬかのみゆらん

松達書上

白菊乃しつぬのころまみまのけりて ころハまねぬかのみゆらん

新勅雜四

久留乃雪のよみまのけりて ころハまねぬかのみゆらん

後古春上

わたりゆあちけりまみまのけりて ころハまねぬかのみゆらん

玉葉書下

花あけけりまみまのけりて ころハまねぬかのみゆらん

新勅書上

山姥乃雪の結まのけりて ころハまねぬかのみゆらん

新松達書上

さねぬまの今まのけりて ころハまねぬかのみゆらん

後松達書上

わらひつてまのけりて ころハまねぬかのみゆらん

後松達書上

わらひつてまのけりて ころハまねぬかのみゆらん

長秋詠集下

神のまねぬかのみゆらん ころハまねぬかのみゆらん

新葉書

後りわらひつてまのけりて ころハまねぬかのみゆらん

後松達書下

わらひつてまのけりて ころハまねぬかのみゆらん

松達書外上

き乃國や吹上げ候乃の候も ころハまねぬかのみゆらん

玉葉雜一

つゆもあめつゆの月のあ ころハまねぬかのみゆらん 今上御書

月清集上

海よまじ田舎猪けりあゝぬ ころハまねぬかのみゆらん

後松達書上

わらひつてまのけりて ころハまねぬかのみゆらん

玉葉春下

桜花あゝぬあゝぬはらうとぬ ころハまねぬかのみゆらん

同下

あゝぬはらうとぬはらうとぬ ころハまねぬかのみゆらん

拾玉集四

うれ山まゆもまみまのけりて ころハまねぬかのみゆらん

松達書上

とらぬまのけりて ころハまねぬかのみゆらん

後古春下

水産よあつたのけりて ころハまねぬかのみゆらん

後松達書上

そくみまのけりて ころハまねぬかのみゆらん

松達書上

物とまのけりて ころハまねぬかのみゆらん

新古書上

花さりまのけりて ころハまねぬかのみゆらん

新古書上

附るまのけりて ころハまねぬかのみゆらん

後松達書中

花よのまのけりて ころハまねぬかのみゆらん

拾玉集六

とらぬまのけりて ころハまねぬかのみゆらん

同四

まのけりて ころハまねぬかのみゆらん

新葉書上

まのけりて ころハまねぬかのみゆらん

新葉書上

まのけりて ころハまねぬかのみゆらん

拾遺五草中 野も山も花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 於玉集四 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 後拾遺五草上 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 後拾遺五草上 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 新勅雜言 山崎乃をせけさる飯神代より 飯神代より 飯神代より
 古今春上 梅の香は遠くも 梅の香は遠くも 梅の香は遠くも
 新勅喜下 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 壬生三草中 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 新勅喜下 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 拾玉集六 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 於遺五草上 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 玉葉雜一 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 壬生三草上 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 玉葉喜上 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 新勅於雜春 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 新於春 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 後古喜下 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも

古今交 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 新勅喜下 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 於玉集一 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 月情集上 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 拾玉集六 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 風雅冬 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 玉葉賀 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 風雅喜中 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 後撰喜下 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 新古喜上 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 壬生三草中 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 拾玉集六 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 長秋詠藻下 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 於遺五草上 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 玉葉喜下 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 同下 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 於三集一 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも
 新勅雜上 花の香は遠くも 花の香は遠くも 花の香は遠くも

新編
十一

壬生二不下

よのつねのまののりす思代か ほんまきききききききききき

玉葉雅一

白言とつたあはれとあはれ けふはあはれを盛るるはれ 玉性法師

於玉集六

あまの川あれてたつたも雪ぬけ ほんまあはれとあはれとあはれ

玉葉雅一

若木よは咲ききたるれとらき ほんまあはれとあはれとあはれ 古志道玄

古今冬

雪よれは冬ごりせるおもおも ほんまあはれとあはれとあはれ

壬生二不上

下あはれ海をうけつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

因花雅上

霞にけしむにけしむはのそりも ほんまあはれとあはれとあはれ

新稿古雅上

程ちくくあをなる物とつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

壬生二不中

あはれやちあまあはれとつた ほんまあはれとあはれとあはれ

金葉雅上

あはれとつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

山家集上

いとあはれとつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

月清集上

世中は極よさけるつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

后松遊文々

ひとあはれよとつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

續信撰春上

葛城やちあはれ山の朝とつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

於玉集七

卒にゆるう山けしむあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

乙女

九をとあはれとつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

子載喜下

いづこもあはれとつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

於玉集六

芳樹山印をうけつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

康賢王母
藤原時房
藤原時房
藤原時房
藤原時房

玉葉雅一

花さうぬ言れたまきあはれよ ほんまあはれとあはれとあはれ

風雅春上

山さるに言たまきあはれよ ほんまあはれとあはれとあはれ

新稿古春上

藻志やち烟はつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

風雅雅下

なちとあはれとつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

拾玉集三

めづるあはれとつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

同六

心願とあはれとつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

同六

かうみれとあはれとつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

後古春上

今しあはれとつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

壬生二不上

山さるに言たまきあはれよ ほんまあはれとあはれとあはれ

後古春上

いづれとあはれとつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

新稿春上

足引の山はあはれとつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

新稿雅中

いづれとあはれとつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

新稿古冬

かきとあはれとつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

後古雅上

あはれとあはれとつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

玉葉雅一

あはれとあはれとつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

玉葉春上

あはれとあはれとつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

風雅五

あはれとあはれとつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

新稿古五

あはれとあはれとつたあはれとつたあはれ ほんまあはれとあはれとあはれ

皇居大夫俊成
人凡
本居重雄
本居重規
本居重信
本居重安
本居重元
本居重長
本居重隆
本居重盛
本居重隆
本居重盛
本居重隆
本居重盛
本居重隆
本居重盛

風雅冬

山あらしは木の葉落きて村時直 けりてふまにさる月影の影 進守内親王

大和物語

ふささうり中よきまの物語 けりて海あはれしは 進守内親王

新古今群集

及まうゝ富貴を焼てつらうれ けりて海あはれしは 進守内親王

拾玉集一

秋のまじりくまねねを雪あて けりてまもりあはれしは 進守内親王

千載地名

あまそねかきけ山よき海て けりて山やち舎れき 進守内親王

拾玉集三

あま月の不葉乃山乃夕時直 けりて山やち舎れき 進守内親王

松玉集六

かさうりありみ日あつと けりて山やち舎れき 進守内親王

月清集下

善あ乃ちとありゆく霧か けりて山やち舎れき 進守内親王

新古今群集

吹うに松の右あしちひくあり けりて山やち舎れき 進守内親王

月清集上

時ふぬかきけ山あはれしは けりて山やち舎れき 進守内親王

玉葉集下

花あさ風のつらにありそぬ けりて山やち舎れき 進守内親王

山家集下

山様つらとくしひくあはれしは けりて山やち舎れき 進守内親王

拾遺冬

ゆさつらとけしとあはれしは けりて山やち舎れき 進守内親王

拾遺冬

様花あさあはれしは けりて山やち舎れき 進守内親王

松玉集上

ちりゆきあはれしは けりて山やち舎れき 進守内親王

拾遺夏上

いづろ名はやくのき年とて けりて山やち舎れき 進守内親王

後古冬

多のうは雲は木しの花をそ けりて山やち舎れき 進守内親王

月清集上

みづ海は花しもあはれしは けりて山やち舎れき 進守内親王

拾遺夏下

うれち又花とてしとあはれしは けりて山やち舎れき 進守内親王

新古今冬

いづろ山郭とてしとあはれしは けりて山やち舎れき 進守内親王

後古今冬

みづ海の浦のて海あはれしは けりて山やち舎れき 進守内親王

拾遺集五

雪のうら若の松とてしとあはれしは けりて山やち舎れき 進守内親王

後拾遺下

ぬきけまらうとてしとあはれしは けりて山やち舎れき 進守内親王

新古今冬

ささぬ松乃らとてしとあはれしは けりて山やち舎れき 進守内親王

金葉集上

とのえの木のしとあはれしは けりて山やち舎れき 進守内親王

松遺集上

風うら花乃らとてしとあはれしは けりて山やち舎れき 進守内親王

月清集下

あまそねかきけ山よき海て けりて山やち舎れき 進守内親王

山家集下

かさうりありみ日あつと けりて山やち舎れき 進守内親王

拾玉集五

善あ乃ちとありゆく霧か けりて山やち舎れき 進守内親王

玉葉集上

吹うに松の右あしちひくあり けりて山やち舎れき 進守内親王

風雅夏

時ふぬかきけ山あはれしは けりて山やち舎れき 進守内親王

後古冬下

いづろ山郭とてしとあはれしは けりて山やち舎れき 進守内親王

壬生二京上

みづ海は花しもあはれしは けりて山やち舎れき 進守内親王

五

五

長秋詠集 中

風雅喜上

金葉春

長秋詠集 中

後於雅喜

後於雅喜上

於送員外

新葉喜下

山苑集

於玉集二

新於喜下

壬生二系中

長秋詠集 中

於送員外上

後古雅下

後於秋上

長秋詠集 中

手裁加矣

君の代はうらみおののまもみか
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

ふのやけやけのさむくはよ
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

東は乃ちやうめまはさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

山あつと暮れをけうひす
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

軍まて花さうらとほの
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

うつらうきさくかた山さ
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

かまら山ぬりとのさふき
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

花らわ水のうれとさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

わさあさてさう秋なると
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

後秋うさうはあひま
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

年以くゆりあうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

うさうさうさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

お花れさうはあさ
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

作くさうさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

風あけいつはあさ
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

しう雲れうさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

あ白して小松さう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

白雲さうさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

新於秋愛

於玉集 中

新於雅上

手裁秋下

新於秋上

於送員外

扶衣一

於送員外上

風雅雅中

新於雅上

新於雅中

新於雅下

玉葉秋上

於玉集三

新古雅上

後古秋上

新於雅中

於送員外上

なすけうらみさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

日音よはさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

ゆきあさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

あさうさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

さうさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

さうさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

さうさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

さうさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

さうさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

さうさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

さうさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

さうさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

さうさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

さうさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

さうさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

さうさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

さうさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

さうさうさう
ころよまわやうきさく
はるは夜はあ

後信院
中務

後信院
中務

後信院
中務

後信院
中務

後信院
中務

後信院
中務

後信院
中務

後信院
中務

後信院
中務

後信院
中務

後信院
中務

後信院
中務

後信院
中務

後信院
中務

後信院
中務

後信院
中務

後信院
中務

後信院
中務

月清集下 玉つゝ城はる人里に秋はせし
 松玉集二 ぼ乃世のあつらんともねて金
 新は拾雅上 伏見山を歩むとてはせしむる
 孫は撰雅中 いまをこがさ月とてあらん
 新は撰雅中 雪はひるひのちのちとてあらん
 松送哀傷 十年経るともせの思ひは
 壬生三下 猪衣あつとてあらん
 孫千壽旅 ちちのちのちとてあらん
 壬生二下 ちちのちのちとてあらん
 新勅冬 ちちのちのちとてあらん
 拾送自外下 子日まるともあらん
 孫松秋上 伏見山を歩むとてあらん
 風雅秋中 秋の田乃まるともあらん
 月清集上 山を歩むとてあらん
 長秋詠藻中 やいふむおはれまの風は又
 壬生二下 ちちのちのちとてあらん
 新松尺笏 ちちのちのちとてあらん
 新松喜上 ちちのちのちとてあらん

松送自外上 いちちのちとてあらん
 新松尺笏 ちちのちのちとてあらん
 山家集 ちちのちのちとてあらん
 新撰秋下 ちちのちのちとてあらん
 拾玉集八 ちちのちのちとてあらん
 長秋詠藻下 ちちのちのちとてあらん
 壬生三上 ちちのちのちとてあらん
 新松送自三 ちちのちのちとてあらん
 松玉集七 ちちのちのちとてあらん
 同六 ちちのちのちとてあらん
 松送哀傷上 ちちのちのちとてあらん
 新は松冬 ちちのちのちとてあらん
 壬生三下中 ちちのちのちとてあらん
 拾玉集四 ちちのちのちとてあらん

赤深坊

増基法師

大政大臣

源兼昌

大納言

大炊頭

拾遺貞外上

あつちのついで衣さうすそねえ
さうらりなれ風さすまき

杖衣四

うら花よこのこみねとあては
さうらりなれはつこのあて

古今雅下

君の思ひ事とつりくねまねす
さうらりなれはつこのあて

長秋詠藻

とくわれうけく山よあはれん
さうらりなれはつこのあて

拾遺集

花の色はうらつとあはれん
さうらりなれはつこのあて

新勅雅一

あはれさき花よはらるる木ねん
さうらりなれはつこのあて

今葉集

ちぬまの花をなまそね下
さうらりなれはつこのあて

拾遺集

さうらりなれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

月下

さうらりなれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

柏木

さうらりなれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

風雅喜下

あはれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

玉葉冬

あはれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

新勅拾遺上

あはれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

後拾遺上

あはれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

山家集上

あはれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

拾遺集三

あはれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

同一

あはれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

新古雅上

あはれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

玉葉夏

あはれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

風雅喜上

あはれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

拾遺集二

あはれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

同一

あはれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

頁の

りすけ

古今春上

年のうちをさすむしむみみみ
さうらりなれはつこのあて

松送貞外上

袖ひきてむしむし水のぬれを
さうらりなれはつこのあて

後拾遺上

むしむしの袖をぬれをさす
さうらりなれはつこのあて

山家集上

とけねとらるる水のさき
さうらりなれはつこのあて

拾遺集三

夕暮乃ちとらるる水
さうらりなれはつこのあて

同一

みみ乃ち吉野の山乃山より
さうらりなれはつこのあて

新古雅上

あはれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

玉葉夏

あはれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

風雅喜上

あはれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

拾遺集二

あはれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

同一

あはれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

新古雅上

あはれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

玉葉夏

あはれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

風雅喜上

あはれはつこのあて
さうらりなれはつこのあて

りすけ

長秋詠藻下

うつゝのあつゝは近きことなり。はつたはさそまふはなれ

後撰哀傷

いづつゝのあつゝもあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

拾遺雜笑

昨日よりいづつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

拾遺喜上

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

風雅賀

わづらひあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

於送喜上

を乃井の柳橋はさそまふはなれ

於送喜外上

善日野乃香は下草のあつゝはつたはさそまふはなれ

新子雜中

一時の花のさつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

於遺喜中

足引乃山はさそまふはなれ

後撰撰冬

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

拾遺喜外上

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

於玉集二

あつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

於送雜秋

梅花のさつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

新物喜下

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

新物喜上

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

於送喜上

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

於玉集又

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

同上

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

玉葉又

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

千載喜下

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

於玉集四

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

類句

長秋詠藻下

ちりちり花は河をさそまふはなれ

新千喜下

せせとあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

伴勢地

山のみあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

後撰撰雜

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

新物喜下

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

新物喜上

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

於送喜上

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

於玉集又

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

同上

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

後古春下

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

壬生三上

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

月清集下

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

玉葉又

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

千載喜下

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

於玉集四

いづつゝあつゝあつゝあつゝあつゝはつたはさそまふはなれ

用防内侍
保原國朝臣

三條院皇太子
入左大臣大臣

源仲徳
源宗氏

律守國助

若原信實

三條元白

前田大行

式部親王

於遺書上

あつらふとてはれ山のさつり

とるれんえんかすのうひ

於玉集七

山吹花を移人のころもま

とるれんえんかすのうひ

新子友

別道あり花のころれあつるも

とるれんえんかすのうひ

手載る

ま衣これのころもぬきくも

とるれんえんかすのうひ

於送負外上

え乃みあつり葉の葉もむら

とるれんえんかすのうひ

後撰書下

ゆいささいりりりりりりりり

とるれんえんかすのうひ

手載書下

縁まのいひいひいひいひいひ

とるれんえんかすのうひ

玉葉書上

まのこのれれれれれれれれれ

とるれんえんかすのうひ

後撰書傷

ひりりりりりりりりりりりり

とるれんえんかすのうひ

於玉集三

いそりれれれれれれれれれれ

とるれんえんかすのうひ

後撰書中

山風のたのつかふゆりりりり

とるれんえんかすのうひ

新後書上

あつらふとてはれ山のさつり

とるれんえんかすのうひ

新後書上

雑波の月乃新柳の夕あはれ

とるれんえんかすのうひ

後古春下

ちりぬいりりりりりりりりり

とるれんえんかすのうひ

後古雜上

あつらふとてはれ山のさつり

とるれんえんかすのうひ

新後書上

足引の山乃さえりりりりりり

とるれんえんかすのうひ

玉葉書下

えんれれれれれれれれれれれ

とるれんえんかすのうひ

新葉書下

風よこつと花の白ひい山くひ

とるれんえんかすのうひ

於送負外上

酒とらふてはれ山のさつり

とるれんえんかすのうひ

拾玉集一

雪ついでてはれ山のさつり

とるれんえんかすのうひ

新古巻三

とらふとてはれ山のさつり

とるれんえんかすのうひ

金葉書下

あつらふとてはれ山のさつり

とるれんえんかすのうひ

後撰書上

松の戸をあけてはれ山のさつり

とるれんえんかすのうひ

於玉集二

残乃めりりりりりりりりりり

とるれんえんかすのうひ

新後書上

園路を泳ぎ乃みのりりりりり

とるれんえんかすのうひ

新子春上

いつとてはれ山のさつり

とるれんえんかすのうひ

新勅雅四

辛味乃漢のまにれりりりりり

とるれんえんかすのうひ

於送書上

ぬきりりりりりりりりりりり

とるれんえんかすのうひ

長秋詠藻中

あつらふとてはれ山のさつり

とるれんえんかすのうひ

同下

ひさつてはれ山のさつり

とるれんえんかすのうひ

玉葉書下

あつらふとてはれ山のさつり

とるれんえんかすのうひ

月清集上

あつらふとてはれ山のさつり

とるれんえんかすのうひ

伊勢物語

馬啼て菊の花さく秋あはれ

とるれんえんかすのうひ

大和物語

あつらふとてはれ山のさつり

とるれんえんかすのうひ

後撰書上

あつらふとてはれ山のさつり

とるれんえんかすのうひ

新千喜上

あつらふとてはれ山のさつり

とるれんえんかすのうひ

頌句は

十一

和歌武部
中納言兼備

頌句は

十一

和歌武部
中納言兼備

新撰古雅上

松玉集七

松遺意若上

壬生二系中

新撰古雅

玉葉雜四

拾玉集三

後古春上

後松若上

長秋詠藻下

同上

拾玉集二

松遺意若上

松遺負外上

月清集下

新撰若上

拾遺負外下

玉葉尺教

つゝのむとほれはさの春も はらけのそをぬつるなる 春原彦補節

人としぬ山花乃香も村消く はらけのそをぬつるなる

なごゆる山のひびく一書幾く はらけのそをぬつるなる

あやの月の白波さうりり はらけのそをぬつるなる

ひあ人の花を尋て出ぬまは はらけのそをぬつるなる

咲きてとあやの花のさるなり はらけのそをぬつるなる

あか人乃のさうりり物やあまは はらけ三月は白川の春

後みさうりりあけけりりさうりり はらけあさひの都さうり

さもはの月あうりり世初れは はらけまを催さうりり

んりりさうりりさうりりさうりり はらけ山はさうりり

はらけ山はさうりりさうりり はらけ山はさうりり

あうりりさうりりさうりりさうりり はらけあけの初れさうりり

さうりりさうりりさうりりさうりり はらけあけの初れさうりり

めりりさうりりさうりりさうりり はらけあけの初れさうりり

はらけあけの初れさうりり はらけあけの初れさうりり

はらけあけの初れさうりり はらけあけの初れさうりり

はらけあけの初れさうりり はらけあけの初れさうりり

はらけあけの初れさうりり はらけあけの初れさうりり

風雅雜上

風雅尺教

壬生二系中

松玉集八

新撰古雅上

月清集上

壬生二系上

拾遺若若上

後松若上

古今若上

後松若若中

風雅冬

新撰若下

後松若若上

松遺負外上

松玉集七

同一

心ありてるるもさ記難はは はらけさうりりさうりり

咲うりり宿の様乃一りりり はらけさうりりさうりり

難ははははありさうりりり はらけさうりりさうりり

初めはははありさうりりり はらけさうりりさうりり

初めはははありさうりりり はらけさうりりさうりり

初めはははありさうりりり はらけさうりりさうりり

初めはははありさうりりり はらけさうりりさうりり

初めはははありさうりりり はらけさうりりさうりり

初めはははありさうりりり はらけさうりりさうりり

初めはははありさうりりり はらけさうりりさうりり

初めはははありさうりりり はらけさうりりさうりり

初めはははありさうりりり はらけさうりりさうりり

初めはははありさうりりり はらけさうりりさうりり

初めはははありさうりりり はらけさうりりさうりり

初めはははありさうりりり はらけさうりりさうりり

初めはははありさうりりり はらけさうりりさうりり

初めはははありさうりりり はらけさうりりさうりり

初めはははありさうりりり はらけさうりりさうりり

初めはははありさうりりり はらけさうりりさうりり

初めはははありさうりりり はらけさうりりさうりり

初めはははありさうりりり はらけさうりりさうりり

初めはははありさうりりり はらけさうりりさうりり

初めはははありさうりりり はらけさうりりさうりり

同七

同七

拾遺自外

松送自外下

壬生二系下

新松雜上

及撰衣三

新初冬

於送自外下

玉葉雜又

於玉集一

新葉集下

詞花集

壬生二系上

松玉集六

新千雜中

新及喜下

月清集下

山のけやさるる日教は村傳て

ころるも明して年あつ山雲よ

あれあつころる乃乃詠めりき

ころる山お月乃乃氣骨路く

ころる秋の社れ後の文あつ

深草やうつた床の伝てて

雪は雲井よりひいてあけ

あつ雪と雪はぬさそきあつ

ころる秋の社れ後の文あつ

うれのやうな世の中はあつ

ころる山は雲の衣けりころり

あつまも松雪なれ後の文あ

ころる秋の社れ後の文あつ

つぬまののけさつひあつて

谷けやうつりあつりあ

老とつらおころる乃乃の下草ハ

いつしころるはあつてあつて

雪とあつてあつて山を伝る

ころる秋の社れ後の文あつ

ころる山お月乃乃氣骨路く

ころる秋の社れ後の文あつ

ころる山お月乃乃氣骨路く

ころる秋の社れ後の文あつ

ころる山お月乃乃氣骨路く

ころる秋の社れ後の文あつ

ころる山お月乃乃氣骨路く

ころる秋の社れ後の文あつ

ころる山お月乃乃氣骨路く

ころる秋の社れ後の文あつ

ころる山お月乃乃氣骨路く

ころる秋の社れ後の文あつ

ころる山お月乃乃氣骨路く

ころる秋の社れ後の文あつ

ころる山お月乃乃氣骨路く

ころる秋の社れ後の文あつ

ころる山お月乃乃氣骨路く

新古春下

新我尺教

拾玉集七

同七

同六

同四

同七

月清集上

新葉雜上

新及喜下

古今雜下

新我雜中

拾遺自外上

同

拾玉集四

同六

同二

新及喜春

ころる秋の社れ後の文あつ

ころる山お月乃乃氣骨路く

ころる秋の社れ後の文あつ

ころる山お月乃乃氣骨路く

ころる秋の社れ後の文あつ

ころる山お月乃乃氣骨路く

ころる秋の社れ後の文あつ

ころる山お月乃乃氣骨路く

ころる秋の社れ後の文あつ

ころる山お月乃乃氣骨路く

ころる秋の社れ後の文あつ

ころる山お月乃乃氣骨路く

ころる秋の社れ後の文あつ

ころる山お月乃乃氣骨路く

ころる秋の社れ後の文あつ

ころる山お月乃乃氣骨路く

ころる秋の社れ後の文あつ

ころる山お月乃乃氣骨路く

一条院傳奇

新及喜春

新及喜春

新及喜春

新及喜春

新及喜春

新及喜春

新及喜春

新及喜春

新及喜春

新及喜春

新及喜春

新及喜春

新及喜春

新及喜春

新及喜春

新及喜春

新及喜春

古今物名 彼のそとけささるる松の皮の
 風雅春上 山の跡とわづね白のそとけささるる
 月清集上 面影のそとけささるる松の皮の
 後古春上 山よりたまたまのそとけささるる松の皮の
 於遺負外 山よりたまたまのそとけささるる松の皮の
 新子雜上 山よりたまたまのそとけささるる松の皮の
 壬生二系下 山よりたまたまのそとけささるる松の皮の
 於遺負外 山よりたまたまのそとけささるる松の皮の
 於玉集上 山よりたまたまのそとけささるる松の皮の
 拾遺集上 山よりたまたまのそとけささるる松の皮の
 壬生二系中 山よりたまたまのそとけささるる松の皮の
 於玉集三 山よりたまたまのそとけささるる松の皮の
 新葉春下 山よりたまたまのそとけささるる松の皮の
 後古春上 山よりたまたまのそとけささるる松の皮の
 於遺集上 山よりたまたまのそとけささるる松の皮の
 新子春下 山よりたまたまのそとけささるる松の皮の
 壬生二系上 山よりたまたまのそとけささるる松の皮の

後西園寺入道

後醍醐天皇

安倍清行の位

後西園寺入道

後醍醐天皇

後醍醐天皇

後醍醐天皇

後醍醐天皇

後醍醐天皇

後醍醐天皇

後醍醐天皇

古今名三 松のそとけささるる松の皮の
 伴勢物終 松のそとけささるる松の皮の
 手裁集上 松のそとけささるる松の皮の
 拾玉集又 松のそとけささるる松の皮の
 風雅春下 松のそとけささるる松の皮の
 拾遺集外上 松のそとけささるる松の皮の
 於遺集上 松のそとけささるる松の皮の
 古今集上 松のそとけささるる松の皮の
 新子春下 松のそとけささるる松の皮の
 後古春上 松のそとけささるる松の皮の
 於遺集上 松のそとけささるる松の皮の
 新子春二 松のそとけささるる松の皮の
 新古春上 松のそとけささるる松の皮の
 風雅雜上 松のそとけささるる松の皮の
 新子春下 松のそとけささるる松の皮の

後醍醐天皇

後醍醐天皇

後醍醐天皇

後醍醐天皇

後醍醐天皇

後醍醐天皇

後醍醐天皇

後醍醐天皇

後醍醐天皇

後醍醐天皇

後醍醐天皇

後醍醐天皇

新古今

五

山部集上

うねりもやひそつぬやとよめ

西園寺入道前

續信撰春上

さうひつる飛乃衣うとくれし

太政大臣

後松春下

をらむそののかりし水ききけり

壬生二不上

人うまうまの家鳩は花を

及松送春上

梅もよとたうけ風や吹つらん

松玉集六

人うまうまぬまのふり小葉書海で

同四

花の海うへ心は定まぬみり

同一

のよむとくきつむは乃初言う

山部集下

小せりつむ海の水のひまみて

壬生二不中

ふ月あま水ある言須極ても

松送春上

多山乃若まのけそまねねる

新古今春上

らうまねますまいつし山部

玉葉春上

年うれかりぬおしくひすれ

新古今春上

あし乃山のひよりかきまきそ

玉葉春上

百あやみさう茶はゆくは

新古今春上

山部乃蘭は垣がのひめはれ

新古今春下

かきまき花の月とつしとらに

新古今春下

本代本のすまかき今あれは十

風雅春上

花つし春もきあはは山部

新物春下

白月はゆきつ時あは思入とや

拾遺草中

らうれはみさそ乃わ乃けは

風雅春中

ほろろつめ簾あのかまはまき

大和物語

喜柳の系うらりて乃うなる

新葉賀

九重にたぬろれはうらうら

壬生二不中

梓弓破きふはれは松はな

同上

夕風は池代若波をからうて

金葉冬

岩代乃ひもくろ松もある雪の

拾玉集六

杯そすのあはち花は秋風落

後古秋上

おきのたはまける地と花ゆま

風雅春上

かきまきあはれはうらうら

新古今春下

あぬまても花ゆへん乃まこれ

壬生二不上

うら乃なきはは西とうらうら

同上

うらあも掃まはらうら

新古今上

みうたは太川のけは若さみ

松玉集又

焼まきし輝のまはらうら

新古今上

あはれとまきまきうら

頭口は

五

西園寺

同六

壬生三品上

新續古春

後千夏

千載冬

山家集上

月清集上

公葉冬

後後撰冬

新拾遺

壬生三品上

同中

後千秋下

新後古友

後古雜下

蘭

千載冬

於選雜忘

いふまゝに雪は花を名るれ

尚吹花は枝よけみく

きふられぬわさるるのゆは

ほらぬぬ花は心をあて

格ふられぬ山ついで

まろすす香よき子みね

のぬあり山田乃涙よ

細あけはくは波るきたる

あはるる門田の西よ

くれ竹のよとるて秋

なうりけとえはせも

茶乃原走も後もひ

ま竹の天久人とい

今生生の竹乃枝の

これと後後入るれ

新自さすひうり

冬きて一程二程と

くらもものころる山

もろり

もろもろのま

くらせるとし

もろすもぬも

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

赤深

赤深

赤深

赤深

赤深

赤深

赤深

赤深

赤深

赤深

赤深

赤深

赤深

赤深

赤深

赤深

赤深

赤深

新後古友

松玉集三

後拾遺雜

拾遺品草上

拾玉集六

於選品草中

新初和

後拾遺品草

新拾遺

山家集下

公葉雜五

於選品草上

同下

壬生三品中

新古齋

新古志又

於選品草中

後古集下

新後古友の松えり

信吉乃松の本ま

あつたれ秋も

あももむい

つれゆき

冬乃ひの本葉

やうり

これと

みさ山

つこ

力のま

こ

やう

縁

ゆ

ゆ

ゆ

ゆ

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

もろもろの

後照念院

作製

後法性寺

前園白文

一条院

中池

中池

中池

中池

中池

中池

中池

中池

中池

中池

中池

中池

中池

於玉集一

強格雜下

拾玉集一

新於雜中

新於雜中

新於雜中

新於雜中

新於雜中

新於雜中

新於雜中

新於雜中

新於雜中

新於雜中

新於雜中

新於雜中

新於雜中

新於雜中

新於雜中

あふまきしあふのふて... 大徳ら忠良

吉野山あま... 源義朝

今くくあひ... 大徳ら忠良

あふまきし... 大徳ら忠良

あふまきし... 大徳ら忠良

あふまきし... 大徳ら忠良

あふまきし... 大徳ら忠良

あふまきし... 大徳ら忠良

あふまきし... 大徳ら忠良

あふまきし... 大徳ら忠良

あふまきし... 大徳ら忠良

あふまきし... 大徳ら忠良

あふまきし... 大徳ら忠良

あふまきし... 大徳ら忠良

あふまきし... 大徳ら忠良

あふまきし... 大徳ら忠良

あふまきし... 大徳ら忠良

あふまきし... 大徳ら忠良

あふまきし... 大徳ら忠良

於玉集一

風雅志中

あふまきし... 大徳ら忠良

古今志二

拾遺志上

月清集下

玉葉雜三

風雅雜下

強格雜下

於玉集一

於玉集一

於玉集一

於玉集一

於玉集一

於玉集一

於玉集一

於玉集一

於玉集一

於玉集一

於玉集一

あふまきし... 大徳ら忠良

松遊秋

松玉集一

同三

月清集上

金葉秋

玉葉雜一

新拾秋下

山家集上

新勅撰秋

乃撰秋下

山家集上

新撰秋下

後拾遺春

玉葉冬

松玉集又

後撰春中

水うら秋の空をうらうらと
ささるひらき
は揚観教

いすき吹をみよそのの風
ささるは海を渡る人
ささるその初をみる人

系流をみるよきまはるを
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

月清集上
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

金葉秋
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

玉葉雜一
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

新拾秋下
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

山家集上
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

新勅撰秋
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

乃撰秋下
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

山家集上
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

新撰秋下
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

後拾遺春
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

玉葉冬
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

松玉集又
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

後撰春中
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

新撰雜下

後言雜別

後言雜上

金葉別

古今雜別

後拾遺秋

後拾遺春

後撰撰友

新古友

古今雜下

拾玉集一

新拾遺一

拾玉集六

新撰古友

拾玉集五

同六

同七

月清集下

八月雨の日記はささるか
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

ささるその初をみる人
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

ささるその初をみる人
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

ささるその初をみる人
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

ささるその初をみる人
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

ささるその初をみる人
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

ささるその初をみる人
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

ささるその初をみる人
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

ささるその初をみる人
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

ささるその初をみる人
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

ささるその初をみる人
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

ささるその初をみる人
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

ささるその初をみる人
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

ささるその初をみる人
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

ささるその初をみる人
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

ささるその初をみる人
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

ささるその初をみる人
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

ささるその初をみる人
ささるその初をみる人
ささるその初をみる人

玉葉秋下 浮中ふもやもろひては月あ

風雅秋下 あめつふ初乃まつも清く

風雅秋中 初乃まつふも清く

同中 草かたれを鳴らめて夕さうれ

玉葉秋下 さも初乃ふも清く

玉葉秋下 秋雲やふさく

玉葉秋下 カはゆふ秋れ

玉葉秋下 一のぬれ雲吹く

玉葉秋下 ひく雲や月のま

玉葉秋上 秋の月たのしみ

玉葉集四 夕さのまの

同四 夕さのまの

新古秋上 月と初乃

玉葉秋下 桂の葉れ

玉葉集一 さくつる月の

玉葉集一 郭公を

玉葉集一 と初乃

風雅秋中 秋の月たの

長秋詠塵 月より初乃

後集上 秋の月たの

全葉集上 湖戸わけて

同々 山のかつ

後集上 山のかつ

新古集一 山のかつ

新古集一 山のかつ

同秋上 山のかつ

玉葉集六 山のかつ

同二 山のかつ

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

後松林上

朔りき鳴経室けきわりの 月めくくは秋風きく 吉昭法師

金葉集

わらふ乃年のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新後松林上

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

月清集上

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

拾遺集上

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

山家集下

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

松玉集六

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

同五

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

多識器集

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新古冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

後松林下

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

玉葉集下

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

後松林上

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

山家集上

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

風雅冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

壬生二下

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新後古冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

後松林下

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新後古冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新後古冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新千喜上

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

松玉集上

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

新冬

まきくす秋のけりきよき 月めくくは秋風きく 源朝光

後日撰春中 春さくさくつれおけお乃よ 花とよそてそくへりり 後三位敦子

於送五草上 山ひさ山のつこもあすきよ 花とよそてそくへりり 大膳卿長

長秋録葉上 日よそては咲宿れ指うか 花とよそてそくへりり 権大僧正

新古其上 梅も枝よたさそくへりり 花とよそてそくへりり 少輔

壬生二系中 志の枝もさくへりり 花とよそてそくへりり 三三後成実

今葉其上 今よそてそくへりり 花とよそてそくへりり 平次

新古其上 竹もまろつよそくへりり 花とよそてそくへりり 源仲心

同志三 花のつよまろつよそくへりり 花とよそてそくへりり 梅原俊隆

新葉其上 つよまろつよそくへりり 花とよそてそくへりり 三三後成実

壬生二系中 花のつよまろつよそくへりり 花とよそてそくへりり 後三位敦子

新古其上 花のつよまろつよそくへりり 花とよそてそくへりり 大膳卿長

後日撰春下 雲れそそくへりり 花とよそてそくへりり 権大僧正

月清集 山様わむふとゆつ物あつひ 花とよそてそくへりり 少輔

新葉其上 山様わむふとゆつ物あつひ 花とよそてそくへりり 三三後成実

後日撰春下 雲れそそくへりり 花とよそてそくへりり 大膳卿長

新古其上 春さくさくつれおけお乃よ 花とよそてそくへりり 権大僧正

後日撰春中 春さくさくつれおけお乃よ 花とよそてそくへりり 少輔

新葉其上 春さくさくつれおけお乃よ 花とよそてそくへりり 三三後成実

壬生二系上 春さくさくつれおけお乃よ 花とよそてそくへりり 平次

今葉其上 春さくさくつれおけお乃よ 花とよそてそくへりり 源仲心

新古其上 春さくさくつれおけお乃よ 花とよそてそくへりり 梅原俊隆

同志三 春さくさくつれおけお乃よ 花とよそてそくへりり 三三後成実

新葉其上 春さくさくつれおけお乃よ 花とよそてそくへりり 後三位敦子

壬生二系中 春さくさくつれおけお乃よ 花とよそてそくへりり 大膳卿長

新古其上 春さくさくつれおけお乃よ 花とよそてそくへりり 権大僧正

後日撰春下 春さくさくつれおけお乃よ 花とよそてそくへりり 少輔

後日撰春上 春さくさくつれおけお乃よ 花とよそてそくへりり 三三後成実

後日撰春中 春さくさくつれおけお乃よ 花とよそてそくへりり 平次

後日撰春上 春さくさくつれおけお乃よ 花とよそてそくへりり 源仲心

入道三平敦子

大膳卿長

権大僧正

少輔

三三後成実

平次

源仲心

梅原俊隆

三三後成実

後三位敦子

大膳卿長

権大僧正

少輔

三三後成実

平次

源仲心

梅原俊隆

拾玉集二

夕陽のよりのさくら花の影の
花は酒のよりのさくら花
大上天皇

後古春下 善くはらひやうれしと吉野の
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

後拾遺春 まゆみよきとてさくら花の
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

山家集上 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

後子集上 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

拾玉集四 けつとてさくら花の影の
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

新拾遺春下 山雲はかきぬるさくら花の影
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

風雅雜上 めつとてさくら花の影の
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

玉葉喜上 わつめくの下ゆひとてさくら花の影
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

新拾遺春下 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

山家集 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

新拾遺春下 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

拾玉集六 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

合葉喜 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

新拾遺春上 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

山家集上 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

後子集上 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

新拾遺春上 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

拾玉集六 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

新拾遺春下 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

山葉春下

壬生二上 善くはらひやうれしと吉野の
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

風雅雜上 めつとてさくら花の影の
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

壬生二上 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

後子集上 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

風雅雜上 めつとてさくら花の影の
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

壬生二上 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

月清集下 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

新拾遺春下 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

山家集上 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

後子集上 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

新拾遺春上 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

拾玉集六 ありめんとさひひけしきさくら
花はさくらとてはにほきれ
大納言云仁

大上天皇

大納言云仁

大納言云仁

大納言云仁

大納言云仁

大納言云仁

大納言云仁

大納言云仁

大納言云仁

大納言云仁

大納言云仁

大納言云仁

大納言云仁

新松春下

春の長は初春のひきまき

花よりあつた小初春の山

忠房親王

於送負外上

これ何てころのさきうけ

花よりあつたまれ山

月清集上

雲乃月の喜風を雲うく

花よりあつたまれ山

於玉集四

善乃月玉の明のさきい

花よりあつたまれ山

同四

わくや月のさきのさきう

花よりあつたまれ山

風雅春中

そなたのさきうけ

花よりあつたまれ山

新松春中

わくや月のさきうけ

花よりあつたまれ山

新松春中

わくや月のさきうけ

花よりあつたまれ山

玉葉春下

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

風雅春上

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

疎拾春上

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

風雅春下

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

新松春上

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

疎松撰華

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

新松春上

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

疎松撰華

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

玉葉春上

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

新松春上

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

疎松撰華

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

新松春下

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

新松春下

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

同上

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

玉葉春上

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

子載春下

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

風雅春下

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

疎松撰華

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

新松春下

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

新松春上

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

疎松撰華

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

新松春上

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

疎松撰華

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

新松春上

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

疎松撰華

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

新松春上

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

疎松撰華

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

風雅春中

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

玉葉春上

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

疎松撰華

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

新松春上

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

山家集七

あつた月のさきうけ

花よりあつたまれ山

中上総

忠房親王

忠房親王

忠房親王

忠房親王

忠房親王

忠房親王

忠房親王

忠房親王

忠房親王

忠房親王

忠房親王

忠房親王

忠房親王

忠房親王

忠房親王

忠房親王

忠房親王

忠房親王

新葉秋上 終りしつらきあつて秋夜乃 花よしと人ほあはれなき 月村上及夜繁

玉葉春下 木をわたりて影をいづるひきん 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

新秋於春 木をわたりて影をいづるひきん 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

新秋於春上 山原乃雲の袖や白くわたり 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

玉葉春上 梅をよみてつたてて花よまはれぬ 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

拾遺集上 花よとらうとまはれぬの月 前中池言定家

同上 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

同上 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

拾玉集七 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

新秋於春下 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

新秋於春上 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

山家集 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

新秋於春上 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

新秋於春下 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

月清集上 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

新秋於春下 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

新秋於春上 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

拾玉集一 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

新秋於春上 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

拾玉集六 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

同上 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

新秋於春上 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

拾玉集一 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

新秋於春上 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

拾遺集上 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

夕顔 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

拾遺集上 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

新秋於春上 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

拾遺集上 花よとらうとまはれぬの月 後時大寺

月村上及夜繁

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

後時大寺

山家集

新秋集下

新秋尺数

後拾遺春上

拾遺地名

新秋集下

新秋吉春

後子表傷

風雅雜上

同春中

新秋吉雜上

拾遺負所

後子表上

新秋集下

以探え

新秋尺数

山家集上

詞苑雜上

咲やぬ袖ゆへにてのそおふ 花よころのさか 貫く

ちひさしとみせしむれつ 花よころのねむるるか 後意慈社

多しものゆきの法とまかり 花よころのねむるるか 菅原孝言

ゆとゆとをさるるさるるなり 花よころのねむるるか 古今伝

あささうつてさすくうろん 花よころのねむるるか 信守 是乃

白ひく風のたうくとまかり 花よころのねむるるか 信守 是乃

るさるるさるるさるるさるる 花よころのねむるるか 古今伝

まみれしとひしとまかり 花よころのねむるるか 古今伝

こはせらあまの老ぬるさるる 花よころのねむるるか 古今伝

えぬさるるさるるさるる 花よころのねむるるか 古今伝

下まきさるるさるるさるる 花よころのねむるるか 古今伝

大さのゆとゆとさるる 花よころのねむるるか 古今伝

けぬさるるさるるさるる 花よころのねむるるか 古今伝

らうらうさ吹のせとゆとゆと 花よころのねむるるか 古今伝

我下れはははははははは 花よころのねむるるか 古今伝

今そさるるさるるさるる 花よころのねむるるか 古今伝

あまのやせとありさるる 花よころのねむるるか 古今伝

らうらうらうらうらうらう 花よころのねむるるか 古今伝

拾遺秋

拾玉集二

新秋集下

新秋集下

新秋集下

後撰春中

新秋集下

壬生二不上

拾玉集四

新秋尺上

新秋集下

古今地名

山家集上

新秋集下

新秋集上

同難上

新秋集上

山家雜五

らうらうれあまのさるる 花よころのねむるるか 小野 是乃

とれらうらうらうらうらう 花よころのねむるるか 小野 是乃

山と山と山と山と山と山と 花よころのねむるるか 小野 是乃

るあれあれあれあれあれ 花よころのねむるるか 小野 是乃

吹くももももももももも 花よころのねむるるか 小野 是乃

あひ思てうらうらうらう 花よころのねむるるか 小野 是乃

なみくさ風と山と山と山と 花よころのねむるるか 小野 是乃

いふははははははははは 花よころのねむるるか 小野 是乃

おのらうらうらうらうらう 花よころのねむるるか 小野 是乃

なま麻乃麻乃麻乃麻乃麻 花よころのねむるるか 小野 是乃

みんか又らうらうらうらう 花よころのねむるるか 小野 是乃

あまのやせとありさるる 花よころのねむるるか 小野 是乃

あまのやせとありさるる 花よころのねむるるか 小野 是乃

あまのやせとありさるる 花よころのねむるるか 小野 是乃

あまのやせとありさるる 花よころのねむるるか 小野 是乃

あまのやせとありさるる 花よころのねむるるか 小野 是乃

あまのやせとありさるる 花よころのねむるるか 小野 是乃

あまのやせとありさるる 花よころのねむるるか 小野 是乃

小野 是乃

小野 是乃

小野 是乃

小野 是乃

小野 是乃

小野 是乃

小野 是乃

小野 是乃

小野 是乃

小野 是乃

小野 是乃

小野 是乃

小野 是乃

小野 是乃

小野 是乃

小野 是乃

小野 是乃

小野 是乃

新古今

後子春下

ひらきけりきとせめてとよき花とはつれづれに名はよ 右春

新古今春上

梅をよ雲のつれづれなる花とつきて雲のうらみ 九河内親恒

同雅上

木の下も身もそよよい山もさき花とよきぬのしき 隆徳師則祐

後送恩草中

りらららとよしのくまもさき花とよきつれづれの白き 赤人

新古今春下

吹風のうらみぬくまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

於玉集一

物をうらむ吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

新古今春下

なごひもさきつれづれなる花とよきつれづれのめらん 赤人

山が集下

見ぬく風のつれづれなる花とよきつれづれのめらん 赤人

同下

吹風の勢もさきつれづれなる花とよきつれづれのめらん 赤人

同上

風をうらむ吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

新古今春上

松をうらむ吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

新古今春下

白菊のうらみぬくまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

後送恩草中

かろくそよよい山もさき花とよきつれづれのめらん 赤人

新古今春下

うらみぬく風のつれづれなる花とよきつれづれのめらん 赤人

月清集下

あささぬの吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

拾遺集上

冬よりうらむ吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

於玉集六

山底やまの吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

後送恩草中

りらららとよしのくまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

新古今春上

あささぬの吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

新古今春上

あささぬの吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

古今冬

冬よりうらむ吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

拾玉集六

あささぬの吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

新古今春上

あささぬの吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

拾玉集五

あささぬの吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

後送恩草上

りらららとよしのくまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

新古今春下

あささぬの吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

新古今春下

あささぬの吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

新古今春上

あささぬの吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

後送恩草中

りらららとよしのくまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

新古今春上

あささぬの吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

新古今春中

あささぬの吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

於玉集外上

あささぬの吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

於玉集四

あささぬの吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

新古今春上

あささぬの吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

拾玉集三

あささぬの吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

新古今春上

あささぬの吹風よまもさき花とよきつれづれのめらん 赤人

園融院師奇

類句は

拾遺春

物に口くく密をさす

後古春下

山極あきてまてあまをさつつか

拾玉集四

喜はくは月もれおみ面あま

同六

むくまよまよさくすくすく

後古春下

今らそと月とあうりやあひん

玉葉春下

ゆきれされひくまもかひまぬ

新羅古雅上

ちくはのよの四乃の喜風よ

新古春下

時志とわれあひ乃乃唐のあま

長秋詠塵上

まをむれ表りううしあうさる

玉葉雜一

まをさひあき物と昔みせ

花散里

まらぬのさびかりうしほさる

新羅古春下

れしとまよぬまをそ山吹の

新後な

あときぬまはしもあまは乃

後古春下

時さうらうしうけさうらぬの

玉葉春下

まゆり又やまゆやまうま

拾玉集四

ひくまよまよまよまよ

新古春下

移まらうつまよまよまよ

新千春下

ひくまよまよまよまよ

後拾遺春

わさよのまよひ人の命をそ

風雅春下

風さよしんさひしそぬ一柱乃

同下

んらう乃乃乃乃乃乃乃乃乃

玉葉雜一

括よけかたけはまはまらぬや

新拾遺上

新かきんぬもあうぬれまよ

新後春上

あふ事とつまよまよまよ

古今五

今はとまよまよまよまよ

玉葉冬

雷あれはるはるまよまよ

山亦集上

すまのあままよまよまよ

風雅春中

はくもむあまのあまの山ま

後古春下

かいらまよまよまよまよ

壬生三上

はせまよまよまよまよ

山亦集上

まよまよまよまよまよ

玉葉春下

まよまよまよまよまよ

後古冬

まよまよまよまよまよ

新拾春下

まよまよまよまよまよ

新後拾遺春

まよまよまよまよまよ

山亦集

まよまよまよまよまよ

類句は

拾遺

蓮生法師

類句は

拾遺

蓮生法師

類句は

拾遺

蓮生法師

類句は

拾遺

蓮生法師

類句は

拾遺

蓮生法師

拾玉集七

山家集上

後撰雜四

月清集下

新古今春上

長秋詠藻

新古今下

山家集上

新古今下

必葉雜一

拾玉集三

全葉春

山家集

同上

同下

拾玉集三

月清集上

古今春上

善哉ふみ山くれば夜下人 花はさくらぬる夕ぐれに

山家集上 郭公さくらぬ柳を海に吹ゆ 花はさくらぬ山はさくら

後撰雜四 夕暮乃さひしき物にわさねの 花はさくらぬる夕ぐれに

月清集下 あさ嵐はさくら山を吹ぬ風 花はさくらぬる夕ぐれに

新古今春上 吉野山はさくら下りて 花はさくらぬる夕ぐれに

長秋詠藻 春のぬる夕ぐれにさくら山 花はさくらぬる夕ぐれに

新古今下 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

山家集上 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

新古今下 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

必葉雜一 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

拾玉集三 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

全葉春 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

山家集 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

同上 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

同下 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

拾玉集三 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

月清集上 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

古今春上 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

新古今春上

拾玉集上

古今秋下

新古今春上

新古今春上

拾玉集上

新古今下

新古今春上

新古今春上

拾玉集上

新古今下

新古今春下

全葉春上

新古今上

新古今春上

新古今春上

新古今下

善哉ふみ山くれば夜下人 花はさくらぬる夕ぐれに

山家集上 郭公さくらぬ柳を海に吹ゆ 花はさくらぬ山はさくら

後撰雜四 夕暮乃さひしき物にわさねの 花はさくらぬる夕ぐれに

月清集下 あさ嵐はさくら山を吹ぬ風 花はさくらぬる夕ぐれに

新古今春上 吉野山はさくら下りて 花はさくらぬる夕ぐれに

長秋詠藻 春のぬる夕ぐれにさくら山 花はさくらぬる夕ぐれに

新古今下 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

山家集上 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

新古今下 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

必葉雜一 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

拾玉集三 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

全葉春 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

山家集 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

同上 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

同下 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

拾玉集三 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

月清集上 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

古今春上 くらねはさくら山はさくらと 花はさくらぬる夕ぐれに

類例は

類例は

類例は

類白

拾玉集四

同四

同四

新物五

以撰五

拾遺五上

拾玉集三

以拾遺五

新拾五

残手友

残以撰和上

残手友

拾遺五上

新古五

長秋詠下

新古五

拾玉集三

みくぬのちをゆまのり郭云

多須とめて芳流志の神の如

かみ若くうつまう人か那

時をまうひつひのこふん

夏乃若くまうまんののこふん

お卯のなもゆも言ひて

まきそて梅も梅も名跡ゆ

まきぬ物もまうまきつ時を

郭云うまをうまうまのあそ

あつちもまうぬ物れじいぬ

神あけひいれんか悪を物

まうや青れ神のまうま

古神まうのまをまのま

おひいもやゆらうやうひの

お月やまうのまをまのま

まうまうまうまうまうま

わうまう人神乃まうまう

何のまうまうまうまうま

まかまうまうまうま

まかまうまうまうま

まかまうまうまうま

まかまうまうまうま

まかまうまうまうま

まかまうまうまうま

まかまうまうまうま

まかまうまうまうま

まかまうまうまうま

まかまうまうまうま

まかまうまうまうま

まかまうまうまうま

まかまうまうまうま

まかまうまうまうま

まかまうまうまうま

まかまうまうまうま

まかまうまうまうま

まかまうまうまうま

源仲實下

らうまうま

らうまうま

らうまうま

らうまうま

らうまうま

らうまうま

らうまうま

らうまうま

らうまうま

らうまうま

らうまうま

らうまうま

らうまうま

らうまうま

らうまうま

らうまうま

らうまうま

同六

壬生二上

壬生二中

拾玉集二

拾遺五

玉葉五

同五

壬生二中

新拾遺春上

拾遺頁外上

玉葉賀

新景五

残拾遺三

以拾遺三

月清集下

新子尺教

長秋詠下

新以雅別

ひうまうまうまうま

みか人神まうまうま

吹風まうまうまうま

ワのまのまのまのま

たう神まのまのまのま

まうまうまうまうま

まうまのまのまのま

まうまのまのまのま

まうまのまのまのま

まうまのまのまのま

まうまのまのまのま

まうまのまのまのま

まうまのまのまのま

まうまのまのまのま

まうまのまのまのま

まうまのまのまのま

まうまのまのまのま

まうまのまのまのま

類白

類白

類白

拾遺物名 たるいのまゝもさるるさるる ぼられていんさるるさるる ちりり

風雅雜中 西照してくさくさゆふもさるる ぼられてのわのさるるさるる ぬ板つ屋内侍

後拾遺雜下 うさまハカクさるる物とさるる ぼかれてあつりのぼるる 金道親王左大臣

拾遺名章上 さるる物とさるるさるるさるる ぼかれてあつりのぼるる 金道親王左大臣

拾遺集七 さるる物とさるるさるるさるる ぼかれてあつりのぼるる 金道親王左大臣

同六 さるる物とさるるさるるさるる ぼかれてあつりのぼるる 金道親王左大臣

子載秋上 秋の野乃さるるのさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

古今集上 吹みさるる風さるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

山家集下 さるる物とさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

壬生二系中 さるる物とさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

風雅雜上 わらさるるさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

新古今集上 てさるる物とさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

後拾遺中 さるる物とさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

新勅雜一 わらさるるさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

拾遺集七 つらさるるさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

同三 さるる物とさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

山家集上 さるる物とさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

風雅春中 さるる物とさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

拾遺集二 かりりさるるさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

月清集下 さるる物とさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

後拾遺春下 ぼらさるるさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

拾遺集一 山橋みさるるさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

後拾遺春上 梓弓さるるさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

古今集上 さるる物とさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

新古今集春 さるる物とさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

壬生二系中 かりりさるるさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

古今集上 さるる物とさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

新古今集春 さるる物とさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

風雅雜上 さるる物とさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

子載秋上 さるる物とさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

後撰秋中 白雲乃さるるさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

詞苑五 うさるるさるるさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

拾遺集三 吹さるるさるるさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

後拾遺教 乃乃乃さるるさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

玉葉秋下 吹さるるさるるさるるさるるさるる ぼられてあつりのぼるる 金道親王左大臣

類聚

平次時

拾遺草上

あらしの心つらう乃とくすし

花のつらう山のみたさう

拾玉集六

冬を乃るれぬとさうさるる

花のまよふ人もとひせん

新古雑上

いよまき月日れゆくもあぬ方ハ

花のまよふもさうさるる

拾玉集一

うらもさげあするさるる書きて

花のまよふもさうさるる

同七

と年とらりわき今れゆてあは

花のまよふ月のみたさう

伊勢物語

さうさるる中れまよひくうさる

花のまよふとさうと感

拾遺草上

まよひて行く人のさうまきて

花のまよひのむてさう

淡手袋傷

羽さるる傷は中とさうあれる

花のまよひハ久しうらるる

金葉集

まよひあつらうさるるさるる

花のまよひはさうさるる

拾遺草上

あつらうさるるハ山嶽もかよは

花のまよひはさうさるる

新拾遺下

さうさるるあつらうさるる水の西

花のまよひさうさるる

淡手春下

まうつらうさるる又ゆらん山はく

花のまよひのさうさるる

拾遺物名

まよひなむむらうさるるさるる

花のまよひはさうさるる

金葉集

白川乃さるる久しき宿るれ

花のまよひはさうさるる

拾遺草上

あつらうさるる月とあつら

花のまよひはさうさるる

新拾遺上

まうつらうさるる葉はくは秋秋の

花のまよひはさうさるる

新古誦語

なほぬさるるさるるさるる

花のまよひはさうさるる

梅枝

あつらうさるるさるるさるる

花のまよひはさうさるる

淡手春下

楊を乃るれぬとさるる山はく

花のまよひはさうさるる

拾遺草上

いよまき月日れゆくもあぬ方ハ

花のまよひはさうさるる

玉葉集一

まよひあつらうさるるさるる

花のまよひはさうさるる

新拾遺上

信山ゆらんさるるさるる

花のまよひはさうさるる

風雅喜中

山を乃るれぬとさるる山はく

花のまよひはさうさるる

新古尺教

あれやいうれ世乃るるさるる

花のまよひはさうさるる

玉葉集

風ゆけと枝もさるるさるる

花のまよひはさうさるる

淡古賀

さうさるるあつらうさるる

花のまよひはさうさるる

新古春下

まうつらうさるるさるる

花のまよひはさうさるる

壬生三不中

まよひあつらうさるるさるる

花のまよひはさうさるる

同

まよひあつらうさるるさるる

花のまよひはさうさるる

淡手春下

風を乃るれぬとさるる山はく

花のまよひはさうさるる

後撰春下

かかあつらうさるるさるる

花のまよひはさうさるる

長秋詠藻上

あつらうさるるさるる

花のまよひはさうさるる

月清集下

法乃水乃さるるさるる

花のまよひはさうさるる

新古春下

あつらうさるるさるる

花のまよひはさうさるる

頼朝

頼朝

信長

古今春上

古今春上 梯色に衣ハ少くそめてきん
 新古春下 いたきく福れきりきき
 拾玉集七 のいりも衣あれも秋ハ程
 後拾摺 せりき月やいとよやうん
 山家集 暮れく人らりぬめり昔山
 新葉友 百あやまき人ハあうし
 新後古夏 とおろは社しうそくさく
 拾遺外上 里まきハ心乃をけり
 新拾春下 けりきくきくきくきく
 新後拾春下 けりきくきくきくきく
 拾遺古春中 とくけりハ心乃をけり
 新勅春下 うつろハ人のこもそあ
 壬生三不中 ぞ程乃山けりすそあ
 金糸秋 ち又乃あぬ別のをきく
 新後友 せりあうるあやれもさ
 月清集上 けりよ酒の味の味もさ
 新子秋下 けりあうるあやれもさ
 後撰春下 せりあうるあやれもさ

拾玉集六

拾玉集六 うけ山ゆふふのあもれや
 後拾雜春 らぬまれ浪を梯よりつらぬ
 月清集上 けりよ酒の味の味もさ
 風雅春中 吹とあま清の毛乃喜風よ
 山家集上 せりあうるあやれもさ
 後拾雜五 吹風よ白いをさくき
 新子妻下 巻向け格糸乃山けり
 新後古春下 香とあてさくさくき
 幻 うさきま忘れもさ
 後拾名四 梅後よ海ありそあ
 拾遺春 けりよ酒の味の味もさ
 後拾遺雅五 けりよ酒の味の味もさ
 後拾遺春上 梅ええやたきき
 蓮生 けりよ酒の味の味もさ
 新葉春下 けりよ酒の味の味もさ
 後撰冬 けりよ酒の味の味もさ
 新勅春上 けりよ酒の味の味もさ

源時法

北地春雅

新内大臣

後巻前朝皇

土門院御製

蓮仲法師

持大納言

二法親王

修理大臣

後拾春上

乙女子の神つら山路をそとれど ともたたりとをそとひたり 花原は浦瀬に

拾玉集一

女郎花を海めぐり海も花よどき ともたはとれとらふも花

壬生二品上

蛸乃をれを車乃衣成り人へ ともたはとれとらふも花

拾遺秋

かりにのそ人のさゆれは女帝た ともたはとれとらふも花

才我春上

月影をそとれとらふも花

新古春下

駒とめてなげあうん山あさけ ともたはとれとらふも花

及撰秋中

秋の静よふゆりわねん女帝花 ともたはとれとらふも花

新子誹階

梅うえは昔れ衣の神あれと ともたはとれとらふも花

長秋詠藻上

九月のそよえそらさぬ女帝花 ともたはとれとらふも花

後撰撰春中

つらへのうれゆ華乃松ありて ともたはとれとらふも花

後古春下

山さうとれれやあさは候そめ ともたはとれとらふも花

金葉秋

女帝のそよえそらさぬ女帝花 ともたはとれとらふも花

拾遺忍草上

卯しむも心もろくおまぬりて ともたはとれとらふも花

後子春下

あはれは乃らさうりきみして ともたはとれとらふも花

後拾春下

もとの松もそ風の静あり ともたはとれとらふも花

拾玉集二

まこれれは梅の枝よ風ちりて ともたはとれとらふも花

拾遺忍草上

夜もさうり山のうけくさあは ともたはとれとらふも花

月清集上

乃れすむも心もろくおまぬり ともたはとれとらふも花

新子春下

みさうさうつらとて山吹の ともたはとれとらふも花

後拾春下

わてらんまふおき山吹乃 ともたはとれとらふも花

新古春下

これかき風もさうりて ともたはとれとらふも花

新撰秋下

あつまはれんさうりて秋の ともたはとれとらふも花

玉葉秋上

村あ乃を海日影も秋草乃 ともたはとれとらふも花

後古夏

あつまはれんさうりて秋の ともたはとれとらふも花

風雅春中

あつまはれんさうりて秋の ともたはとれとらふも花

玉葉春下

あつまはれんさうりて秋の ともたはとれとらふも花

山家集下

あつまはれんさうりて秋の ともたはとれとらふも花

新撰秋下

あつまはれんさうりて秋の ともたはとれとらふも花

後子春下

あつまはれんさうりて秋の ともたはとれとらふも花

玉葉春下

あつまはれんさうりて秋の ともたはとれとらふも花

後撰春下

あつまはれんさうりて秋の ともたはとれとらふも花

風雅春中

あつまはれんさうりて秋の ともたはとれとらふも花

拾玉集一

あつまはれんさうりて秋の ともたはとれとらふも花

新古春上

あつまはれんさうりて秋の ともたはとれとらふも花

古今雜別

あつまはれんさうりて秋の ともたはとれとらふも花

山家集

あつまはれんさうりて秋の ともたはとれとらふも花

拾遺草上

同上

拾遺物名

山家集

同上

玉葉雜一

同春下

拾玉集六

詞苑雜上

玉葉春下

新撰雜上

後撰春下

後撰秋中

同春下

新玉集賀

拾玉集一

新撰春下

らけ山重よ心乃くりりり

ゆるりよささよと申ね

春風のひらりやそれとていひ

雪のふりた様そらりま

白川の雪の積のうらひ

きつとささよとさひ

入をの初なる山乃陰

秋よりも雪よりの月乃

垣本れとてささよと

とれりつ時と風と

気事よとささよと

雪風の吹くもささよと

ささよとささよと

なみおの志のてと

打ちつとささよと

九十九とあると

白く吹風のささよと

一枝のささよと

はあのはとささよと

はあの春はとささよと

はあのささよとささよと

はあのささよとささよと

はあの河とささよと

はあのささよとささよと

はあの本のささよと

はあのささよとささよと

はあのささよとささよと

はあのささよとささよと

はあのささよとささよと

はあのささよとささよと

はあのささよとささよと

はあのささよとささよと

はあのささよとささよと

はあのささよとささよと

はあのささよとささよと

はあのささよとささよと

新撰春上

新古春下

後撰春下

後撰春下

新撰春上

月清集上

新撰春上

後撰秋下

新撰春下

拾遺負外

新撰物名

新撰春下

後撰春下

後撰春下

胡蝶

拾遺物名

拾玉集二

はあはとゆれぬ里と

ちりにとらぬれぬ

きつとささよと

み秋の雪とささよと

きつとささよと

ワヤと梅は枝つて

前川流るゆと

竹乃と松のささよと

雪のふりもささよと

わらひと心のゆと

はあはとささよと

あさよとささよと

そとのささよと

ささよとささよと

このねらぬと

ささよとささよと

ささよとささよと

ささよとささよと

花はあはとささよと

花はあはとささよと

花はあはとささよと

花はあはとささよと

花はあはとささよと

花はあはとささよと

花はあはとささよと

花はあはとささよと

花はあはとささよと

花はあはとささよと

花はあはとささよと

花はあはとささよと

花はあはとささよと

花はあはとささよと

花はあはとささよと

花はあはとささよと

花はあはとささよと

花はあはとささよと

在原信長

在原信長

在原信長

在原信長

在原信長

在原信長

在原信長

在原信長

在原信長

在原信長

在原信長

在原信長

在原信長

在原信長

在原信長

在原信長

在原信長

在原信長

同四

拾遺草下

拾遺草上

壬生二品中

玉葉雜一

新撰冬

後撰春中

後古賀

拾遺草中

玉葉雜下

新撰春下

禮

新古雜上

後拾遺草上

詞花

壬生二品中

今昔草

拾玉集二

かたつらわの山咲ちりまきり
はるのさかりはわきまを
後人
次

いしんれんをうそ思ふ数冬の
はるのさかりはわきまを
中務宗良親

古心八思くともみりけ
はるのさかりはわきまを
法公惟成

山様白ひと風すまうせまう
はるのさかりはわきまを
法中實性

よりゆへらちまてはる山様
はるのさかりはわきまを
前大納言系

もつとくははるまきまの
はるのさかりはわきまを
僧初仁教

海せ乃らうらまきまの時海
はるのさかりはわきまを
馬内侍

ともまぬんそんらんうのかり
はるのさかりはわきまを
らる人志の

あつとくははるまきまの
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

あつとくははるまきまの時
はるのさかりはわきまを
法永元

子載心

人志重信ひそひそめりてまきたれは
いふれうらむとまきぬん 衣衣信信節

全葉冬

なるふとあきまけつるハハク冬は
はあれゆるはまきとまの節 由大信

拾遺草上

山のてしつらまきまじりてまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

山家集下

はまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

淡拾春下

吹風ハ層もりもあき谷川乃
はあれゆるはまきとまの節
入道三親五助
中末后之八夫
後成

新古春下

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

風推春下

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

月清集上

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

山家集下

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

淡古集上

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節
檀大徳云云實

拾遺自外上

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

後拾遺神祇

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

壬生二不上

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

須磨

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

全葉雜上

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

拾遺草下

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

須磨

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

後拾遺離別

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節
康資貞母

後拾遺別

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

同雜三

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

同雜様

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

拾遺草上

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

同上

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

新葉雜上

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

拾玉集一

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

拾遺草上

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

風雅賀

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

新葉春上

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

淡拾撰春

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

子載春下

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

淡拾撰春

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

全葉春下

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

新古春上

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

新古春上

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

新古春上

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

全葉秋下

あきまきとまの節のあきまきぬん
はあれゆるはまきとまの節

類聚

新抄春下

山さつし神の宮やうつら

はののちつはとそぬぬる 基俊

月清集上

惟しけし待たぬとて

はののちつはとそぬぬる

新抄集三

うせはいふはしく

はののちつはとそぬぬる

手載集上

神の宮にそめは

はののちつはとそぬぬる

後拾遺集

うさつしは

はののちつはとそぬぬる

新撰百集上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

新撰百集下

あつしは

はののちつはとそぬぬる

有葉集

あつしは

はののちつはとそぬぬる

早蕨

あつしは

はののちつはとそぬぬる

玉葉春上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

同秋上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

壬生三上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

後撰集上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

御花集

あつしは

はののちつはとそぬぬる

新抄春下

あつしは

はののちつはとそぬぬる

玉葉春上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

古今御抄

あつしは

はののちつはとそぬぬる

新抄天教

あつしは

はののちつはとそぬぬる

拾玉集一

あつしは

はののちつはとそぬぬる

風雅集

あつしは

はののちつはとそぬぬる

新撰百集

あつしは

はののちつはとそぬぬる

後拾遺集

あつしは

はののちつはとそぬぬる

月清集上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

玉葉集

あつしは

はののちつはとそぬぬる

新撰百集上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

新撰百集下

あつしは

はののちつはとそぬぬる

壬生三上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

後撰集上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

山吹集

あつしは

はののちつはとそぬぬる

同上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

新撰百集上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

後撰集上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

新撰百集上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

新撰百集下

あつしは

はののちつはとそぬぬる

壬生三上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

後撰集上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

山吹集

あつしは

はののちつはとそぬぬる

同上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

新撰百集上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

後撰集上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

新撰百集上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

新撰百集下

あつしは

はののちつはとそぬぬる

壬生三上

あつしは

はののちつはとそぬぬる

類聚

類聚

崇徳院西教

後伏見院西教

公卿雅久

小大君

光俊朝臣

大納言光任

民部卿

太上天皇

中女

上東門院中

末重法師

数合

鹿門伏見院

玉葉雜一

春風吹花散

花散春風吹

拾玉集五

春風吹花散

花散春風吹

拾玉集七

春風吹花散

花散春風吹

新玉集上

春風吹花散

花散春風吹

長秋詠集

春風吹花散

花散春風吹

拾玉集七

春風吹花散

花散春風吹

拾遺集

春風吹花散

花散春風吹

同四

春風吹花散

花散春風吹

新玉集下

春風吹花散

花散春風吹

風雅集下

春風吹花散

花散春風吹

後撰集上

春風吹花散

花散春風吹

壬生三系中

春風吹花散

花散春風吹

拾遺集

春風吹花散

花散春風吹

後撰集下

春風吹花散

花散春風吹

後撰集下

春風吹花散

花散春風吹

古今秋下

春風吹花散

花散春風吹

伊勢物語

春風吹花散

花散春風吹

大和物語

春風吹花散

花散春風吹

拾遺集

春風吹花散

花散春風吹

後撰集

春風吹花散

花散春風吹

新撰古今

春風吹花散

花散春風吹

玉葉集下

春風吹花散

花散春風吹

花散集

春風吹花散

花散春風吹

新撰秋上

春風吹花散

花散春風吹

拾遺集

春風吹花散

花散春風吹

拾遺集

春風吹花散

花散春風吹

玉葉雜一

春風吹花散

花散春風吹

拾遺集

春風吹花散

花散春風吹

拾遺集

春風吹花散

花散春風吹

山家集上

春風吹花散

花散春風吹

新撰拾遺集

春風吹花散

花散春風吹

後撰集下

春風吹花散

花散春風吹

後撰集

前大僧正慈法
後法性寺入道
前白太政大臣

類聚

四十一

金葉雜上

こころのあはれをよみて

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

後百春下

山形乃くまのしづか

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

月清集上

秋乃花の行ふしづか

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

山形集上

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

壬生二系上

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

新千雅上

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

風雅雜下

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

後百春下

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

後撰春中

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

同雅一

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

新千雅上

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

後百春上

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

拾玉集四

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

新初冬

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

新後古賀

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

新葉表傷

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

拾遺古賀上

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

拾遺賀

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

新千雅上

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

後撰春中

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

長秋詠上

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

新葉表傷

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

梅枝

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

拾玉集二

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

新後古賀上

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

拾遺古賀上

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

壬生二系上

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

新後賀

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

新後雅上

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

拾玉集五

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

後撰春中

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

拾玉集七

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

新後古賀

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

後撰春中

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

新撰上

梅ももればおぼろけ

花ももればおぼろけ

右近將曹茶老

類聚

三

拾玉集四 様うあるうらむてちやうとく 花乃らありけし海あり

山家集下 夕風八月のおきけ山さけ 花乃らありけし海あり

拾玉集四 ひとあはれうらむひもて海あり 花乃らありけし海あり

後古雅上 りるるのそらうらむてちやうとく 花乃らありけし海あり

手執雅中 好くおきけうらむてちやうとく 花乃らありけし海あり

拾遺集下 酒をこれすこもまのあつり 花乃らありけし海あり

因花雜上 春けりてすこもまのあつり 花乃らありけし海あり

拾玉集三 山家乃みの乃白手さけぬぬ 花乃らありけし海あり

月清集上 山吉野けたまささ山よるおれ 花乃らありけし海あり

新後雅上 春とてぬらぬらせん山家乃 花乃らありけし海あり

後拾雅春 なくしてははれま 花乃らありけし海あり

拾玉集一 吉野山又入りてはけし山家乃 花乃らありけし海あり

後古雅下 春とてぬらぬらせん山家乃 花乃らありけし海あり

拾遺集上 春けりてすこもまのあつり 花乃らありけし海あり

山家集 山家乃みの乃白手さけぬぬ 花乃らありけし海あり

古今類 徳よすう月思ひおるはらう 花乃らありけし海あり

拾遺集下 吹風の音うらむ世もあはれけり 花乃らありけし海あり

新葉賀 春やまはれまはれ目ねとわらひを 花乃らありけし海あり

後古雅下 春やまはれまはれ目ねとわらひを 花乃らありけし海あり

同身 春やまはれまはれ目ねとわらひを 花乃らありけし海あり

拾遺雅春 世中よりわらひまはれおれを 花乃らありけし海あり

長秋詠藻下 風さむる茶粥のまはれを 花乃らありけし海あり

新葉集 春やまはれまはれ目ねとわらひを 花乃らありけし海あり

山家集上 春やまはれまはれ目ねとわらひを 花乃らありけし海あり

同上 春やまはれまはれ目ねとわらひを 花乃らありけし海あり

古今春下 春やまはれまはれ目ねとわらひを 花乃らありけし海あり

風雅春下 春やまはれまはれ目ねとわらひを 花乃らありけし海あり

新葉春下 春やまはれまはれ目ねとわらひを 花乃らありけし海あり

新葉秋下 春やまはれまはれ目ねとわらひを 花乃らありけし海あり

紀貫之
伴山
源孝度
平親世
氣月法師

頁のよ

二五

後拾遺集
大坂

類聚

四十六

後醍醐院 宰相

永徳院内侍

法皇 道長

新千集上 何れも我流のうらみか 花も枝ひまわりくちか
 拾玉集三 何れもはるるをそと女昂花 花も心乃あつたか
 風雅雜上 まさふを力七十乃妻よりと 花も心乃あつたか
 壬生三采中 ちりりしつらふまは山吹乃 花も心乃あつたか
 紅梅 花も心乃あつたか
 新拾春下 花も心乃あつたか
 後撰秋下 花も心乃あつたか
 山家集下 花も心乃あつたか
 新拾誹怪 花も心乃あつたか
 後拾遺集 花も心乃あつたか
 新葉集傷 花も心乃あつたか
 後古尺教 花も心乃あつたか
 拾遺集下 花も心乃あつたか
 玉葉雜一 花も心乃あつたか
 新葉集傷 花も心乃あつたか
 新後拾遺集 花も心乃あつたか
 風雅雜下 花も心乃あつたか
 後古賀 花も心乃あつたか

拾玉集一 花も心乃あつたか
 新葉春下 花も心乃あつたか
 新千集下 花も心乃あつたか
 玉葉雜一 花も心乃あつたか
 後撰冬 花も心乃あつたか
 拾玉集二 花も心乃あつたか
 月清集上 花も心乃あつたか
 後古秋下 花も心乃あつたか
 新千秋上 花も心乃あつたか
 新古秋上 花も心乃あつたか
 後千冬 花も心乃あつたか
 古今志四 花も心乃あつたか
 後撰志三 花も心乃あつたか
 新裁集下 花も心乃あつたか
 月清集上 花も心乃あつたか
 拾遺集上 花も心乃あつたか
 拾玉集七 花も心乃あつたか

白河院 宰相
 法皇 道長
 中務卿 親王
 右大臣 藤原
 左大臣 藤原

後拾秋下 秋の月をさしてまき月影を 何とぬきとてうのふり 万葉集卷下
 拾玉集四 池よりしりのの上よ月影を けつらぬきとて 万葉集卷下
 長秋詠集上 志保りするうれも果はらるる けつらぬきとて 万葉集卷下
 新葉秋上 秋のえよをけり人後のあまを けつらぬきとて 万葉集卷下
 壬生二系下 玉より流道の山風をさして けつらぬきとて 万葉集卷下
 風雅集下 玉より山風をさして けつらぬきとて 万葉集卷下
 後拾遺抄 志保りの衣の袖をさして けつらぬきとて 万葉集卷下
 拾玉集四 志保りし秋の形をさして けつらぬきとて 万葉集卷下
 同二 月影をさして けつらぬきとて 万葉集卷下
 同五 志保りし秋の形をさして けつらぬきとて 万葉集卷下
 同五 志保りし秋の形をさして けつらぬきとて 万葉集卷下
 山家集下 志保りし秋の形をさして けつらぬきとて 万葉集卷下
 同上 志保りし秋の形をさして けつらぬきとて 万葉集卷下
 新千辨別 志保りし秋の形をさして けつらぬきとて 万葉集卷下
 後撰集三 志保りし秋の形をさして けつらぬきとて 万葉集卷下
 後集下 志保りし秋の形をさして けつらぬきとて 万葉集卷下
 新葉集下 志保りし秋の形をさして けつらぬきとて 万葉集卷下
 壬生二系上 志保りし秋の形をさして けつらぬきとて 万葉集卷下

拾玉集三 秋の月のあつみの村雲を けつらぬきとて 万葉集卷下
 月清集下 秋の月のあつみの村雲を けつらぬきとて 万葉集卷下
 拾遺集 秋の月のあつみの村雲を けつらぬきとて 万葉集卷下
 拾玉集四 秋の月のあつみの村雲を けつらぬきとて 万葉集卷下
 新葉集上 秋の月のあつみの村雲を けつらぬきとて 万葉集卷下
 後撰秋中 秋の月のあつみの村雲を けつらぬきとて 万葉集卷下
 後撰拾遺上 秋の月のあつみの村雲を けつらぬきとて 万葉集卷下
 山家集上 秋の月のあつみの村雲を けつらぬきとて 万葉集卷下
 新千冬 秋の月のあつみの村雲を けつらぬきとて 万葉集卷下
 拾玉集四 秋の月のあつみの村雲を けつらぬきとて 万葉集卷下
 拾遺集外上 秋の月のあつみの村雲を けつらぬきとて 万葉集卷下
 山家集上 秋の月のあつみの村雲を けつらぬきとて 万葉集卷下
 後撰集上 秋の月のあつみの村雲を けつらぬきとて 万葉集卷下
 拾遺集下 秋の月のあつみの村雲を けつらぬきとて 万葉集卷下
 拾玉集五 秋の月のあつみの村雲を けつらぬきとて 万葉集卷下
 同四 秋の月のあつみの村雲を けつらぬきとて 万葉集卷下
 拾遺集外下 秋の月のあつみの村雲を けつらぬきとて 万葉集卷下
 同上 秋の月のあつみの村雲を けつらぬきとて 万葉集卷下

後古春上 平持元
 定ちあまの力に降すもそのまは
 かくれぬよたつちあまのまは
 二ひくすのふんと二月に
 ねきよのまはあまのまは
 柿のまのふんあまのまは
 うまのまのまはあまのまは
 まねのまのまはあまのまは
 せまのまのまはあまのまは
 山あまのまはあまのまは
 後古長傷 なる人のまはあまのまは
 下のまのまはあまのまは
 小ねのまのまはあまのまは
 新後古春傷 吾のまのまはあまのまは
 新千雅上 喜とれあまのまはあまのまは
 後撰三 けれあまのまはあまのまは
 金葉集下 つまのまのまはあまのまは

詞多雅下 けれあまのまはあまのまは
 拾遺集上 松む乃あまのまはあまのまは
 新勅雅二 うれあまのまはあまのまは
 新後古春 けれあまのまはあまのまは
 拾遺集下 けれあまのまはあまのまは
 新後撰上 けれあまのまはあまのまは
 拾遺集上 けれあまのまはあまのまは
 拾遺集下 けれあまのまはあまのまは
 後古春上 けれあまのまはあまのまは
 拾遺集上 けれあまのまはあまのまは
 同四 けれあまのまはあまのまは

古今雅下

木下りわのほろもつたぬけのぬ

新勅巻一

雲舟すそをあらはせりわさき

山本集上

秋風のよけのぬれ玉のぬれ

同下

とゆきつる雲もほの雲のむす

新拾秋下

初時あまふらふらふら思入

壬生三馬止

まうくまふらふら思入

吾輩雜又

ゆきつる雲もほの雲のむす

新千賀

わさきつる雲もほの雲のむす

子爵尺教

きんぎょふらふら思入

新千雅上

法入たまわらふら思入

山本集下

今さうふらふら思入

金葉集

水のあまふらふら思入

新千秋下

ひらけつる雲もほの雲のむす

拾遺集

縁田乃ゆきつる雲もほの雲のむす

後拾遺教

ゆきつる雲もほの雲のむす

風雅巻三

世のあまふらふら思入

新山集三

ふらつる雲もほの雲のむす

新秋上

秋さぬきつる雲もほの雲のむす

拾遺集

わさきつる雲もほの雲のむす

新千尺教

六乃道田のすきつる雲もほの雲のむす

新古今冬

国乃入ふらつる雲もほの雲のむす

拾玉集三

ほみもさうきつる雲もほの雲のむす

新千和名

ゆきつる雲もほの雲のむす

古今春下

ゆきつる雲もほの雲のむす

柏木

ゆきつる雲もほの雲のむす

壬生三馬止

ゆきつる雲もほの雲のむす

長秋詠藻上

ゆきつる雲もほの雲のむす

新拾遺

ゆきつる雲もほの雲のむす

拾玉集七

ゆきつる雲もほの雲のむす

山本集上

ゆきつる雲もほの雲のむす

拾遺集

ゆきつる雲もほの雲のむす

新千秋上

ゆきつる雲もほの雲のむす

拾玉集七

ゆきつる雲もほの雲のむす

邦古雜記 ありてはしるすのそとあまはまきんつちを和めりく 後初成伸
新葉志久 ありてはしるすのそとあまはまきんつちを和めりく 右葉志久
新葉文 山川やまきんつちのそとあまはまきんつちを和めりく ありてはしるすのそとあまはまきんつちを和めりく

Handwritten text in a rectangular frame, likely bleed-through from the reverse side. The text is written in a cursive style and includes several lines of characters that are difficult to decipher due to the ink bleed-through and the angle of the page.

